

EPAハノイ便り

11月号

平成28年11月30日

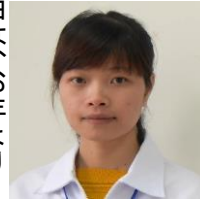
ARCベトナム校発行

EPA候補者作品特集

EPA候補者の研修所生活もいよいよあとわずかです。今月号(最終号)ではこの1年間に書いた候補者の作文をいくつかご紹介します。

「介護福祉士になろうと思った理由」

2組 ブー・ティ・トゥオン



私が介護福祉士になろうと思った理由は、お年よりが動くことに困ったとき、手伝う仕事がしたいと思うからです。

私が子供だったとき、父も母も毎日働いていたのでいつもおばあさんといっしょに遊んでいましたが、高校生だったとき、おばあさんが病気で動けなくなりました。これで、とてもさびしかったです。毎日、私はお祖母さんが動くのを手伝いました。

そんな時に私は介護福祉士になりたいと思いました。そのためによい勉強しました。やっと大学の看護の専門に入りました。その時、とてもうれしかったです。すぐおばあさんに知らせました。おばあさんもうれしそうでした。今から、私は好きな仕事をすることが出来ます。

今、おばあさんはなくなりましたが、いつもおばあ

さんを思い出します。私は高齢者が楽しんで、けんこうにくらすことができるように助けられると思っています。

「日本人の知らない日本語」

10組 グエン・ティ・トゥー・トゥイー



私は「日本人の知らない日本語」というドラマを紹介します。

このドラマは、先生に紹介してもらいました。面白いドラマです。1月から、日曜日の夜に私はたいい勉強しないで寝ていました。でも先生にこのドラマを紹介してもらったとき、私は日曜日の夜にこのドラマを見ています。

「日本人の知らない日本語」は日本語を教える先生の話です。この先生は子どもときから、アメリカに住んでいたの、日本語があまり上手じゃありません。でも、日本へ帰ってから、外国人に日本語を教える先生になりました。ハルコという先生です。授業中ハルコ先生は外国人に言葉や文法の使い方と意味を聞かれますが、ハルコ先生は全然わかりません。こまりました。ですから、ハルコ先生は日本語の辞書を読み始めました。外国人がわかりますから、ハルコ先生は教え方を調べるようにしていました。だんだんハルコ先生は上手な先生になりました。皆さんに人気がありました。

このドラマは全部日本語です。ベトナム語がないので、まず内容がわかりませんが、見れば見るほど

わかるようになりました。さらに、たくさん言葉を習いました。

このドラマは面白いし、それに日本語を勉強することもやくに立つと思います。

「ベトナムの社会問題」

7組 ダン・トゥー・チャン



先月のニュースによると、ベトナムのがんで亡くなる人の数は最近とてもふえているそうです。あるデータによれば、平均すると1日に205人の人ががんで亡くなっているということです。これは他の国に比べて、とても多い数です。がんをへらすために、私たちは何か方法を考えなければならぬと思います。

がんを持っている人の数をへらすために、まずプロパガンダをすることは大切です。まだがんについてよくわからない人が多いです。テレビでがんに関する番組をよく放映したほうがいいと思います。

次にルールをもっときびしくしなければならぬと思います。もつときびしく消費財を管理して、ぜったいに不知所の食べ物とか、飲み物とか、果物に対して、販売させません。たばこやお酒の税金を高くしたほうがいいです。きんえんのルールをきびしくするためにたばこを吸う人のための場所を分けたり、公でタバコを吸う人に対してばつ金を高くしたりすればいいと思います。

そして、がんの種類によって原因がちがいます。例えば、はいがんの原因はたばこのけむりですが、かんがん(肝がん)といがんの原因はたいいお酒を飲みす

ぎることです。つまりがんを持っているのは悪生活いしゅうかんからです。自分のけんこうを守るために、一人一人がもつと気をつけようと思うことが一番大切だと思えます。お酒を飲みすぎなくて、油っぽい食べ物を食べなくて、たばこのけむりをさけて、毎日体そうしたほうがいいです。特に1年に2回病院へけんこうを検査に行くことは大切です。早くがんを見つけたら、適合の方法で治れば、寿命をのばせると思えます。

ですから、がんを持っている人の数をへらすために、まずはプロパガンダをすること、きびしく消費財を管理すること、それから一人一人が悪い生活しゅうかんをやめて、けんこうを守ろうと思う気持ちを保持することの三つの方法がとても大切だと思えます。

最後にこの1年間新聞を作ってきた新聞部員の感想をのせます。

1年間皆と新聞記事を書くのは大変ですが、とても楽しかったです。いろいろな知識を身につけるようになりました。日本の生活にやくに立つと思えます。

グエン・ティ・ティン・フォン

もともと作文が苦手な私は新聞を書くと考えたことがありませんでした。新聞部に入って、新聞を書くことができ、勉強になったと思えます。

グエン・ティ・ロアン

皆さんと一緒に新聞記事を書くのは3か月しかないのに、とても楽しかったです。これはいい経験です。

チュオン・ティ・ヌー

新聞部に3か月しか参加しませんでした。でも、楽しいことがたくさんありました。そして、みんなといっしょに新聞が書けるのはとてもうれしかったです。

レー・ティ・ジエウ・トウ

私にとって新聞部に参加できるのはいい機会です。皆と相談したり、文法を練習したり、EPAの活動を紹介したりしているのはとてもうれしいです。

ズオン・ティ・フエン・チャン

新聞記事の書き方がだいたい分かるようになりました。自分にとっても役に立つと思えます。

レー・スアン・チュン

新聞部に入ってから、記事を書いたのは2回だけなので、体験があまりありませんでした。でも4、5人が一緒に話し合っ、グループ活動をするのは本当に楽しかったです。

ブイ・ティ・ハイ・リー

3か月しか新聞部に参加しなかったが、皆が団結して一緒に記事を書いて、とても楽しかったです。

グエン・トウ・ハー

新聞部に入ってから、ともだちと協力の意味が分かるようになりました。何事も、成功するために、自分の力だけではなくみんなのどりよくも大事です。

ドー・ズイー・ビン

新聞部に入っている時間はほんの3か月ぐらいですが、楽しい時間がとれてありがたいと思っています。

チャン・ティ・フエン・チャン

毎日日本語の勉強が忙しいですが、新聞活動のおかげでグループで相談して、皆と話す時間があって、

たまったストレスが解消できました。

ダオ・ティ・ホア・マイ

新聞部に入ってもうれしかったです。新聞活動をきっかけに日本語の作文の書き方がまえより上手になりました。ほかは先生と皆さんからいろいろなことを教えてもらいました。とてもありがたいです。1年間皆さんと新聞をかいていい思い出になりました。

ダン・ティ・ミン・チン

新聞部に入って、1年楽しんで、皆さんとよく話し合い、仲が良くなってきました。最初は苦難がたくさんあるが、頑張ればできると思えます。ですから、皆さん日本へ行けるまで頑張りますよ。

グエン・ティ・ハイ

新聞部に入ってから、いろいろなことを勉強しました。日本語で記事を書くことをきっかけに、日本語の勉強が上手にできたり、日本の社会文化にきょうみをもったりしています。とても役に立ちます。

グエン・ティ・チャン

新聞部に入ってから、分からないことを知るようになりしました。さらに日本語の勉強法を練習する機会があります。それより日本語が上手な人ができます。本当にそれに役に立ちます。

ディン・ティ・トウ・ゴック

最後の記事はいかがでしたでしょうか。いよいよ日本語能力試験本番です。候補者全員の合格を祈っています。(た)